

提案募集

どうぞの建築

高校生建築提案コンテスト 2021

秋田県立大学では、高校生の皆さんに
未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと
2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。

15回目となる今回は『「どうぞ」の建築』をテーマに、
建築的なアイデアを募集します。

締切

10月29日 金

消印有効（作品受付は10月1日より）

■ 結果発表 11月26日(金)

■ 賞と副賞

最優秀賞	1点	賞状、副賞 [図書カード3万円、表彰記念品]
優秀賞	2点	賞状、副賞 [図書カード2万円、表彰記念品]
佳作	5点程度	賞状、副賞 [図書カード5千円、表彰記念品]
奨励賞	数点	賞状

※グループ応募の場合、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

お問い合わせ先・送付先

秋田県立大学 本荘キャンパス 事務局 総務・企画チーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp Website <https://www.akita-pu.ac.jp>

出題・審査 システム科学技術学部 建築環境システム学科

Akita Prefectural University
秋田県立大学

高校生建築提案コンテスト 2021

どうぞの建築

建築は、長い時間をかけて、様々な人のために、共有する場を提供します。そこには、空間はもちろんのこと、時間も介して人々が共有する「何か」が存在します。一方、経済効率を考えると、短期間で収益をあげることがよしとされ、一定の経済的な価値が失われると、解体され建て替えられる、廃棄して買い換える、ということが繰り返されています。その結果、私たちは、長時間かけて共有することの大切さ、そして誰かに何かを与えることの価値を、見失ってきているように思います。そうしたことに、ふと疑問を感じる時間を、昨年からの様々な制約のなかで、多くの方が、少なからず体験しているのではないのでしょうか？

これからの新しい生活を考える上で、経済効率とは別の価値を、誰かに与え、共有する、象徴的な言葉として「どうぞ」をキーワードに、建築やまち暮らしを、考えてみる必要があるのではないのでしょうか？

今回のコンテストでは、そうした互いをおもう言葉「どうぞ」に着目し、地域と共有する場がある住まい、まちのなかで共有される空間、何かを与えたいような仕組みがあるまちづくりや地域のあり方の提案など、「どうぞ」をキーワードに自由に考えて下さい。

対象

高校生（高等専門学校の場合は在籍3年以下の学生）

応募規定

コンテストテーマを踏まえて、作品タイトルを決定し、A) 自由フォーマットかB) 論文フォーマットのどちらかの形式を選んで、作品をまとめてください。

A) 自由フォーマットの場合（設計作品、調査や提案のポスター表現、など）
図面、写真、文章等を自由にレイアウトして作品をまとめてください。ただし、作品タイトルは作品中に必ず記載してください。
図面や写真の点数、説明文章の文字数の制限はありません。手描き、CAD、着色などの表現も自由とします。ただし、見易さも評価されますので、あまり小さい文字などを用いないように注意してください。模型や映像などは受け付けません。写真として用紙中に表現してください。

〈用紙の大きさについて〉

A1用紙1枚以内（A3用紙を4枚合せた大きさ）であれば紙の大きさは自由です。下の例のように複数枚に分けることもできます。

例) A2用紙2枚、A3用紙4枚、A4用紙8枚

※用紙の枚数は規程の総量を超えなければ自由です。

A2以下のサイズで複数ページで構成する場合は、作品タイトルを全ページの裏側にも記入し、ページ番号をつけてください。

B) 論文フォーマットの場合

（調査研究の論文、などのフォーマット）

下記の規程にて作品を作成してください。A4用紙8枚以内とします。

- 1枚の用紙の文字数は、図、表を含め1,200字程度としてください。
- 最初の行に作品タイトルを記載し、1行空けてから本文を書き始めてください。
- 文章には適宜、章、節を設けて構成してください。
- 図、表には番号を付けて、文章中に表し、適宜レイアウトしてください。
- 参考文献は、最後にまとめて記載してください。
- 各ページにページ番号をつけ、ページ左上をホッチキスでとめてください。
- 文章や図は、手書きでもかまいません。

注意点

- A) B) は部門ではありません。全ての表現方法による応募作品を同等に審査します。表現方法の違いは審査に影響しません。
- 作品には必ずオリジナルのタイトルをつけてください。
- 提出作品には、応募者の所属学校名や氏名等がわかる内容を一切記入しないでください。
- 他の著作権の侵害、個人情報の無断掲載等は、絶対にしないでください。
- 出版物及びインターネット等に掲載された情報を引用する場合は、必ず引用元を示してください。
- 一度提出のあった書類、提出物は一切返却できません。必要であれば事前にコピーをとるなどしてから提出してください。
- この応募要項にない事項は、すべて応募者の判断によるものとします。質疑応答は行いません。

提案参考例

- 地域と共有する空間が考えられた住宅や集合住宅の提案
- 記憶や歴史をなんらかの形で共有するしかけのある住まいや施設
- 古い建物を活用していく上で、共有したり、提供するための仕組みや課題
- まちのなかで共有される空間のあり方（広場、みち、空き地、など）
- 遠く離れた地域、人どうしで、何かを与え、いただく仕組みと交流のしかけ
- 物々交換のような仕組みを建築や都市レベルでサポートする仕組みや空間（上記の提案参考例以外に、様々な発想のアイデアを期待します）

応募方法

下記フォームにアクセスし、作品ごと応募情報を入力してください。入力結果がメールにて通知されますので、プリントアウトして応募作品と一緒に下記の送付先へ提出してください。

※フォームへのリンクは大学HPにも掲載しています。

高校応募用フォーム

（教員が取りまとめる場合）



個人応募用フォーム

（高校を通さない場合）



応募締切

10月29日(金) ※消印有効（作品受付は10月1日(金)より）

賞

最優秀賞（1点）：賞状、副賞／図書カード3万円分、表彰記念品

優秀賞（2点）：賞状、副賞／図書カード2万円分、表彰記念品

佳作（5点程度）：賞状、副賞／図書カード5千円分、表彰記念品

奨励賞（数点）：賞状

※グループ応募の場合、賞状、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

審査基準

現代の人々の要望、あるいは社会の問題点などを踏まえつつも、従来の概念や常識にとらわれない、自由な発想の建築的アイデアを重視します。実現の可能性は低くても、身近な問題意識を踏まえた若者らしい発想にもとづいた提案が望ましいと言えます。表現方法についても、提案に適した表現方法がとられていることが望ましいものとします。審査はテーマを出題した教員らを中心に、建築環境システム学科教員により選考委員会を組織して行います。

結果発表 …… 11月26日(金)

大学のホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp>）で発表します。発表では、作品タイトルとその応募者の学校名、学年、氏名を掲載します。入賞作品や応募作品を掲載した図録等の作成は予定していません。なお、応募作品は返却いたしませんので、ご注意ください。

※応募者の個人情報については、本コンテストの実施・運営のために利用するほか、秋田県立大学に属する各種情報提供の目的にのみ使用します。また、受賞者の学校名、学年、氏名、作品のデータについては、報道機関に情報提供される場合があります。応募作品は本学のオープンキャンパスや大学祭等での展示や、大学の広報関連冊子などで利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

問い合わせ先・送付先

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局 総務・企画チーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp <https://www.akita-pu.ac.jp>

出題・審査：システム科学技術学部 建築環境システム学科